

## 長妻厚生労働大臣と基金訓練による就職者との意見交換会

日時：平成22年4月17日（土） 11:00～12:10

場所：厚生労働省 大臣室

出席者：

（厚生労働省）

- ・長妻 昭 厚生労働大臣
- ・細川律夫 厚生労働副大臣
- ・山井和則 厚生労働大臣政務官
- ・太田俊明 厚生労働審議官
- ・小野 晃 職業能力開発局長
- ・田畑一雄 職業能力開発局能力開発課長

（基金訓練による就職者）

- ・ Aさん（50代前半：男性）  
「キャリア・コンサルタント養成科」を修了後、千葉県内の公的機関において、キャリア・コンサルタント等に対する相談・援助業務に従事（1年間の有期雇用）
- ・ Bさん（30代前半：女性）  
「パソコン医療事務・調剤事務・介護事務科」を修了後、神奈川県内の薬局において、調剤事務に従事（期間の定めのない雇用）
- ・ Cさん（20代半ば：男性）  
「介護福祉サービス科」を修了後、埼玉県内の特別養護老人ホームにおいて、介護職に従事（期間の定めのない雇用）
- ・ Dさん（30代前半：女性）  
「Webサイトデザインコース科」を修了後、埼玉県内の会社において、自社のホームページ作成・メンテナンス、パンフレット・チラシ作成業務に従事（期間の定めのない雇用）
- ・ Eさん（20代半ば：男性）  
「建築設計CAD科」受講中に就職が決まり、中途退校後、神奈川県内の会社において、給排水設備の設備管理、関連する申請等事務処理業務に従事（期間の定めのない雇用）

<田畑職業能力開発課長>

本日は、お忙しいところ、お越しいただきまして、誠にありがとうございます

す。

ただいまより、長妻大臣、細川副大臣、山井政務官と緊急人材育成支援事業における職業訓練（基金訓練）により就職を実現された皆様との意見交換会を行います。

開催に当たり、長妻厚生労働大臣からご挨拶申し上げます。

#### <長妻大臣>

本日ここに出席していただいた趣旨、目的というのは、就職、雇用環境が厳しい中で、我々もいろんな政策を打ち出して実施しているところですが、それがどういう効果があって、もっとこういう工夫が必要だとか、PRが不足しているのではないか等、ご意見を率直にいただきたいというのが1点です。

もう一つは、厚生労働省の政策を使って就職された方をお呼びしているわけですが、この訓練をどこで知って、どういうきっかけで受講を申し込んだのかというプロセス、また訓練の内容、訓練を受けた後どのように就職先を見つけ、その後充実しているのか、また新たな悩みがあるのか等、皆様の体験談をお知らせいただきたいということです。そして、今回の意見交換会の内容はホームページに載せて、訓練について広く国民の皆様を知ってもらい、国の制度を活用していただきたいというのが狙いであります。

それでは、Aさんの方から、どういうきっかけで訓練を知って、訓練の中身がどうであって、どうして就職できたのかについて教えていただけますでしょうか。

#### <Aさん>

以前、外資系の半導体メーカーで働いておりました。リーマンショックによる企業買収が原因でリストラにあいました。その後、これまでの経験を生かす方向で仕事を探していましたが、年齢的なものもあり、書類選考で落とされ、なかなか就職先が見つからず、失業給付も終わり、どうしたものかと思っていて、ハローワークで職業相談をしたところ職業訓練があるとの話をいただきました。

その中で、キャリア・コンサルタントの訓練があることを知り、どのような仕事か分からなかったのですが、これまでの経験を生かし、就職を援助する仕事だと言われ、自分のキャリアを考える上でも良いのではないかと思い受講を決めました。

訓練の3カ月が終わる頃にキャリア・コンサルタントを活かせる求人が出ていると訓練生の仲間から教えてもらい、応募しました。

学校に行っていなかったら、この仕事は見つかっていなかったと思います。

4月1日から1年間の契約社員として仕事をしていますが、とても充実しています。

<長妻大臣>

どのようなお仕事ですか。

<Aさん>

千葉県内の公的機関で働いており、現場の職員をサポートする仕事に携わっています。

<Bさん>

昨年の9月に自己都合で退職し、就職活動をしていましたが、求人情報を見ても資格がないと応募すらできない状況でした。そこで、資格を取りたいと思っていたところ、新聞広告で基金訓練があることを知りました。

3カ月の訓練で、医療事務、調剤事務、介護事務の3つの資格を取得することができました。

2月10日に訓練が終了し、訓練校があるビルの下にあるハローワークの情報端末で、医療事務、介護事務の資格が必要である求人情報を見つけ、応募して就職しました。

<長妻大臣>

失業保険は切れていましたか。

<Bさん>

自己都合で退職していたため給付制限があり、受講開始後2カ月後位から失業保険を受給しました。

<Cさん>

親元で暮らしていたため、生活のことはあまり考えていませんでしたが、20代半ばになって将来のことを考え、建設関係のアルバイトの日給月給制の仕事に不安も感じてきていました。

また、親が養護学校に勤めていたこともあり、介護の職業に関心を持っていました。

建設関係の仕事にやりがいを感じられず、また、出身が沖縄であるため、将来は沖縄で生活したいと思っていましたし、沖縄は老人が多いので、ヘルパーの仕事が良いのではと思っていました。

しかし、介護の面接会などに参加しましたが、介護の資格もなく、未経験であるため、就職が難しく、最低でもヘルパー2級の資格が必要だと思いました。

職業訓練があることは知っていたため、ハローワークに相談したところ、基金訓練の紹介を受けました。受講までに1カ月くらい先の訓練ではありましたが、資格を取りたいということもありましたし、通常なら10万円ぐらいかかる訓練を安く（教材費のみ自己負担）受けられるので受講しました。

働いていて感じたことですが、他の人は、8日間で資格を取っている人もいましたが、自分の受講した授業は300時間あり、長い時間をかけて実施しているの、授業で習ったことが現場でも役に立っています。

ただ、実技は訓練生同士で、実際に麻痺のある方とは違い、また実習でも実習先により、例えば、おむつ交換ができた人とできなかった人という風にバラバラで、本当の利用者に対する時、経験がないと戸惑うこともあります。

受講生の中には、母子家庭の母の方が多く受講しており、その方々の就職が難しい状況でした。

学校では就職支援のカリキュラムがありましたが、履歴書の書き方等の内容で、仕事の紹介をしてもらえるものではありませんでした。

訓練を受けて2カ月目頃、学校の求人情報の掲示板で今の職場の求人を見つけて応募し、就職しました。

<長妻大臣>

基金訓練の実費（テキスト代）はいくらぐらいでしたか。

<Cさん>

1万円ぐらいでした。

<長妻大臣>

埼玉県内の特別養護老人ホームに就職されていますが、やりがいはどうですか。

<Cさん>

高齢者の方は礼儀正しい方が多く、「ありがとう」と感謝されて嬉しいです。やりがいがあります。

<Eさん>

オートバイの販売営業の仕事をしていたことから、ものづくりの仕事に興味があり、手に職をつけたいと思っていました。退職し、建築の設計に関する

仕事に応募しましたが、実務経験やC A Dの資格が条件となっており、受かりませんでした。

ハローワークに相談したところ、雇用保険を受給していない方向けの訓練（基金訓練）があることを知りました。

基金訓練は、8割以上の出席が必要となっており、就職面接に行く時間がありません。また、就職活動は訓練を終えてからでないとできない状況になっています。

<長妻大臣>

基金訓練の実費はいくらぐらいでしたか。

<Eさん>

1万円ぐらいでした。

<長妻大臣>

基金訓練で技能を身につけて就職することができたでしょうか。

<Eさん>

この訓練はC A Dの内容だけでなく、建築の設計に関する知識・技能を幅広く習うことができたので就職することができました。

<Dさん>

公共職業訓練を受講していた友人がいたため、訓練の存在は以前から知っていました。

W e bを使う仕事に就きたかったのですが、実務経験がないため就職が厳しい状況であったため、訓練を受講しました。

<長妻大臣>

基金訓練を受講中、生活支援給付は支給されていましてでしょうか。

<Dさん>

子供がいたため、12万円支給されていまして。

<長妻大臣>

訓練受講中に就職先が決まりましたか。

<Dさん>

訓練が終わってから就職しました。

自分の作った作品がないと就職面接してもらえないため、訓練期間中は朝早く学校に行ったり、授業が終わってから作品作りをしたりしていましたが、作品が出来上がったのは訓練修了間際となってしまいました。訓練修了後は、自分の作品を持って面接に行き、就職しました。

<長妻大臣>

訓練修了後、何日後に就職しましたか。

<Dさん>

2月10日に訓練が終了し、3月18日に就職が決まりました。

<長妻大臣>

就職面接は何社か受けましたか。

<Dさん>

数え切れないほど受けました。

<長妻大臣>

現在のやりがいはどうですか。

<Dさん>

LED照明のメーカーに就職し、会社のWeb作成だけでなく、パンフレットやチラシ作成もやらせていただいて、楽しく仕事をしています。

<長妻大臣>

基金訓練の実費はいくらぐらいでしたか。

<Dさん>

教材費だけで1万5千円ぐらいでした。

<山井政務官>

Dさんから12万円の生活支援給付を受けているとの話がありましたが、その他に給付を受けていらっしゃる方はどれくらいいらっしゃいますでしょうか。  
【Aさん、Eさんが手を挙げる。】

もうひとつお伺いしたいのですが、クラスメイトの就職状況はいかがでしょうか。

<Aさん>

定員38名、修了者約30名の訓練でしたが、10名中8名ぐらいは就職が決まっているような状況でした。民間企業への就職も多く、人材紹介会社などにも就職しているようです。

<Bさん>

知っているかぎりでは10名程度です。正社員は実務経験がないと難しく、主婦、母子家庭の母の人はほとんど正社員では就職できていないようです。

<Cさん>

介護職員基礎研修を受けて資格取得を目指している人もいます。

特に母子家庭の母は、仕事が見つからないようです。詳しい理由等は分かりませんが、子供がいるという理由で、企業側に敬遠されるのではないかと思います。

<Dさん>

就職が決まった人はほとんどいません。実務経験がないと難しいようです。Webサイトデザインに関する仕事を諦めて、事務職に転向する人やアルバイトを続けながら就職活動をしている人もいます。

<Eさん>

私は、訓練途中での就職であり、他の方々は5月まで訓練を受講しています。

<細川副大臣>

基金訓練において改善すべき点はありますか。

<Aさん>

生活支援給付を受給しながら訓練を受けることができ恵まれています、生活支援給付だけで生活するのは困難であるため、アルバイトもやりました。

少しでも給付額を上げていただきたい。それが難しいのであれば、アルバイトをすることについてのフォローをしていただけるとありがたい。

<Bさん>

訓練受講料が無料であることは嬉しいのですが、受講者の中には、教材費（1万5千円）、3つの資格取得に係る検定料（1万9千円）を自己負担することが大変だという意見もありました。

<Cさん>

アルバイトをしながら訓練を受講していました。受講者の中にはアルバイトをしていたために、寝ないで訓練を受講していた方もいました。交通費も自己負担は大変です。

<Dさん>

Web制作の順序に沿ったカリキュラムスケジュールにしていきたいです。

3カ月では訓練期間が短いので、1カ月増やしてほしいです。ジャバスクリプト等も学べる訓練にすれば、もっと就職できるようになると思います。訓練で使用しているパソコンのソフトも個人で買うには高価（20万円くらい）なものもあるため、なかなか個人で購入することができないことから自宅で復習などができません。アカデミック版のソフト（8万円くらい）でもよいので、受講生用に整備してもらえるとありがたいです。

<Eさん>

訓練の内容に問題はありませんでした。訓練を受講するにあたって、交通費で月3万円かかりました。就職のために勉強しに行っているのに、アルバイトで疲れてしまって勉強ができないといった状況が出てしまうと本末転倒であるため、生活支援給付の支給額について検討いただきたいと思います。

また、学校に相談してもわからないといった状況やハローワークによって対応が異なるといった状況がありました。

具体例としては、就職が決まった後の連絡（生活支援給付の受給を止める連絡）について、何の書類を提出するのか分からないため、ハローワークに相談したところ、学校に連絡すれば良いとのことでしたが、学校に連絡したところ、よく分からないとのことでした。

<長妻大臣>

基金訓練受講中に就職が決まった場合の対応はどのようになりますか。

<田畑職業能力開発課長>



生活支援給付は訓練受講期間中のみ支給することになるため、学校から毎月訓練の受講状況を報告してもらい、中央職業能力開発協会がそれをもとに支給することになります。

訓練途中で退校された場合は、その月における出席状況が8割以上あるかなどを学校が報告し、それに基づき、生活支援給付が支払われるかどうかが決まります。

<長妻大臣>

現在、どれくらいの方が基金訓練で就職していますか。

<田畑職業能力開発課長>

訓練修了後3カ月時点の就職率について、現時点で把握している数値では、55%程度です。

<細川副大臣>

皆様、一生懸命に訓練を受講していただいたようですが、クラスの中に一生懸命に訓練を受講していないように思われた人はいませんでしたか。

<Aさん>

みんな真剣に受講していたと思います。家庭の事情等で休んでいる人はいました。

<Bさん>

休み時間中も分からないところをお互いに教えるなどして、クラス全員資格を取ることができました。みんな真剣に受講していました。

<Cさん>

数人休みすぎの人もありましたが、クラスメイトの援助もあり訓練を修了することができました。真面目に取り組んでいました。

先程、言い残しましたが、訓練の受講に当たって応募倍率が高かったです。訓練コースが少ないため、家から遠い訓練を受講しなければならない状況もあったようです。

<Dさん>

久しぶりの勉強の機会ということもあり、みんな一生懸命に取り組んでいました。

<Eさん>

みんな真面目に取り組んでいたと思います。

<山井政務官>

最大のポイントはいかに就職率を上げるかだと思います。

気になったのは、学校は、就職支援といいながら、職業あっせんはしていないとのことです。理想は訓練修了1カ月前くらいになったら、学校は、就職面接に行くことができたり、ハローワークに訪問することができたりするようなフォロー、また訓練が終わった後のアフターフォローをしていかないといけないと思います。

正社員の割合をいかに増やしていくかも重要です。

また、交通費、教材費、検定料について、全部は無理であるが、何らかの形で負担を軽減することができないかということもあります。

最後に、母子家庭の母の方に対する支援を進めていかないとならない、訓練を受講しても就職が難しいと思われれます。

就職支援については、学校で職業あっせんもやってほしいという意見は他の受講生からもありましたか。

<Aさん>

就職支援は職業あっせんのことだと認識していた受講生が多かったです。

<山井政務官>

訓練実施機関の取り組みは難しいのでしょうか。

<田畑職業能力開発課長>

就職支援については、履歴書の書き方等のみならず、具体的な就職支援も実施するよう、学校に対してお願いをしています。就職支援を行うに当たってはハローワークと十分に連携をとって実施するよう、対応をお願いしていきたいと考えています。

<山井政務官>

教材費についても支給することは難しいのでしょうか。

<田畑職業能力開発課長>

本人の所有物になるものを国が負担することは難しい面があります。貸与す

ることも、勉強の時に書き込み等をするのを考えると難しいのではないで  
しょうか。

<長妻大臣>

貴重なご意見を聞かせていただきありがとうございました。

以上をもって終了。